



九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
 発行責任者 佐川愛子
 ✉ nara9jyonokai@gmail.com
 ☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranel>
<http://www.nara9jyonet.com>
 35号 2019年11月8日発行



半田滋氏は述べています。「7月の参議院選挙まで改憲勢力は3分の2の議席を持っていた。なぜ、改憲発議をしなかったのか。それは、国民投票に過半数を得る自信がなかった。3000万署名をはじめとする取組が発議を許さなかった」

九条の会奈良県ネットワーク交流会への2019年度の協力金をお願いします。
送付先: ゆうちょ銀行
 記号14530 番号27006271
 九条の会奈良県ネットワーク

改憲発議強行を草の根からの運動で阻もう（骨子）

2019.10.10 九条の会

- 1、安倍首相は、先の参院選において市民と野党共闘の頑張りでも改憲勢力3分の2の議席の維持に失敗したにもかかわらず内閣改造と党役員人事で任期中の改憲発議強行に本腰を入れる体制をつくり、臨時国会に臨んできました。
- 2、安倍自民党は、改憲問題がすすまない背景にある「安倍改憲反対」の国民世論を意識し、国会審議と並行して、草の根からの改憲世論づくりに本腰を入れようとしています。日本会議と連携し自民党全支部での改憲推進本部づくりをはじめ、改憲国民投票を見据えて策動を強めています。
- 3、改憲の新たな局面を迎えたいま、まず必要なことは、こうした安倍改憲の狙いと危険性を市民が共有することです。「安倍政権下の改憲」には反対の声は多数ですが、自衛隊を憲法に明記する9条改憲の危険性は、まだまだ市民の中には浸透していません。また、改憲手続法は、いま問題となっている有料CMが「カネで改憲を買う」危険をもっているだけに留まらず、公務員・教育者の地位利用の国民投票運動の禁止や「組織的多数人買収・利害誘導罪」など市民の自発的な運動を規制する致命的欠陥をもっていることも見逃せません。草の根からの学習、討論運動を巻き起こしましょう。
- 3、先の参院選で3分の2を割らせた、3000万署名をはじめとする市民の運動に確信を持ち、改めて、署名、集会、スタンディング、ネットでの配信、など草の根からの運動をさらに幅広く大きなものにししましょう。草の根からの市民の声で安倍改憲を包囲し、阻止しましょう。

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会は九条の会からのアピールを受けて提起を行います。

「改憲発議強行を草の根からの運動で阻もう」そのための3000万筆署名をはじめとするとりくみをどう取り組んでいくのかについて、生駒や奈良市九条の会交流会では交流会が予定されています。その他の地域ブロックでも実情に応じて交流会を持ちお互いの取組に学び合い、安倍改憲を阻止するための活動を広げましょう。



11.3 近鉄八木駅前集会「安倍改憲阻止！ 辺野古埋立て即時中止！」を訴える70名近くの市民が集まりました

水谷代表世話人の主催者挨拶、国民民主党・日本共産党・新社会党・奈良市民連合・九条の会奈良から代表者の挨拶、社会民主党からはメッセージが寄せられました。参議院選挙で野党統一候補を擁立した選挙戦で深まった政党の代表者の団結は参加者に大きな拍手を持って迎えられました。参加者の発言からは「消費税が10%に上がり質素に暮らしている状況」や8歳の時に終戦を迎えたという婦人は「憲法というのは素晴らしい、もう戦争が無いというのは本当にうれしかった」と語られ、生きる希望を貰いながら集会に参加していると述べられました。集会の後、市役所までデモ行進が行われました。九条の会奈良県ネットワークの幟が初登場しました。

8月11日「第13回かんまき 平和のつどい」に77名が参加

8月11日(日)に2000年開催で行われた「上牧平和のつどい」(映画「ムツちゃんの海」鑑賞会)には若者男女77名の方が参加していたが定員満了。映画鑑賞で「このつどいをつどいと認めてほしい」という声が多数寄せられた。



【アンケートに寄せられた声】

- いつも企画、運営ありがとうございます。私の母は昭和8年生まれの86歳で大阪の空襲を体験しています。幼いころから母の戦争体験を聞いて育ちましたので、このようなイベントは大変大事だと思っています。「ムツちゃんのつどい」とても良かったです。(40代女)
- こういう機会はなくさずいだけたらと思います。企画し、行うのは大変だと思いますが、お願いします。(40代男)
- 戦争の悲惨さをあらためて感じ、二度と繰り返さないように希望します。(60代男)
- 戦争は絶対してはいけないと思いました。(60代女・男)
- 小さく亡くなれば残念です。胸の病氣も昔は怖い病として、隔離されていて助けることもできなかったのが、かわいそうでした。(60代女)
- 生命を軽視する戦争は悲惨さを生むことになる。悲しい映画であった。こんなことがないことを、祈ります。(60代男)

- 何があっても戦争はすべきでないと思う。自分で戦わなくても傷つものが多い。(70代女)
- よい映画を見せていただきました。(70代女)
- 終戦のときは4歳でした。家からそう離れていない所に、高射砲陣地がありました。夜になればサーチライトが見えていました。防空壕に入った記憶があります。(70代男)
- 戦争は絶対反対。(70代男)
- 大変有意義でした。今後もよろしく。(70代男)
- 4歳の時、空から降ってくる焼夷弾を見た。たいへん、たいへんいい映画をありがとうございました。涙と怒り。(70代男)
- 子どもにすぐわかる、子どもは犠牲に、子どもは宝物。小豆のお手玉が楽しみです。いま、「アンネの日記」再読しています。(戦後すぐ「ヒロシマ」という映画がつくれ受賞したが、リアルすぎたのか世間に出回らず、映画館にこからなかった。)(70代)



九条の会・へぐりは恒例の19の日 スタンディングを行いました。

参加者は通常の半分でしたが、「安倍やめろ」の横断幕を掲げ安倍政治を許さないと通行する車に訴えました。



11月4日 JR 奈良駅前広場は憲法広場となりました！ 10時から15時まで「第15回憲法まつり」が行われました。憲法改正、原発、沖縄の基地、食と農などの展示や柿やミカンの販売、無農薬ポン菓子無料配布などの販売、平和のライブなど楽しく、又、憲法や暮らしについて考えさせられる憲法まつりでした。14時から15時半までは「11.4憲法集会 in 奈良」が行われました。「戦争させない9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が提起する「憲法記念日集会」に呼応して、120名の参加者は、それぞれが持ち寄った横断幕をバックに「安倍改憲NO! 3000万署名活動、スタンディング、歌声とリレートーク、シュプレヒコール」を行い、観光客や市民に「平和憲法を守ろう。九条を守ろう」と訴えました。参加者が多いと署名にも力が入ると一人で17筆署名を集めた参加者やシール投票で若い人と対話、ティッシュが1000枚手渡せるなど、広場一杯に広がっての一人ひとりの行動は、JR奈良駅前を憲法広場の状況に変えました。—「憲法九条は世界の珠」—

平城ニュータウン九条の会憲法カフェ 2019年9月28日

奈良市右京ふれあい会館で13:30から講師憲法九条の会生駒池田順作さんで「全国知事会が見直しを要求している日米地位協定 なに？ 私たちとの関係は？ 世界に例を見ないアメリカ特権の数々、その驚くべき実態」の講演を行いました。参加者は「目から鱗が落ちる」「初めて聞いた話だ。もっと聞きたい」など好評でした。資料はホームページに掲載しています。



生駒九条の会は、今日は3時間ロングラン、1時間は奈良県平和委員会から理事長ら2名が特別参加し、辺野古問題に絞った宣伝と署名を展開。参加者のべ35名 辺野古署名28筆 核署名50筆 憲法署名50筆 憲法署名の到達は 4919筆 です。



12・7 奈良市民連合・不戦のつどい

憲法改憲反対！安保法制廃止！
我々は、あらゆる戦争政策に反対する！
12月7日(土) 14時から3000万署名、
14時半から集会、15時から市内パレード

青年弁護士 ロベルト・サモラ氏 講演会

日時：12月3日(火) 13:30~16:00
場所：奈良文化会館小ホール
共催：九条の会奈良県ネットワーク
日本国際法律家協会
参加費：1,000円

奈良市九条の会交流会

学園前北口街宣行動
3000万署名、シール投票、
スタンディング
12月13日(金) 14時から15
時まで